

平素から組合員・利用者の皆さまには格別のご愛顧を賜り心よりお礼申し上げます。

この度、2022年度の経営内容をご報告するにあたり、「ディスクロージャー誌」を制作いたしました。ぜひご一読いただきたくお願い申し上げます。

さて、2022年度のが国経済は、夏場のコロナ感染拡大が終息した後は、水際対策が大幅に緩和され、政府の支援策もあり、消費・輸出のサービス部門の需要回復が見られた反面、物価高によって一般的に消費は伸び悩みました。また、高インフレによる海外経済の減速やウクライナ問題、すすまぬ財政健全化などの懸念材料があり、これらの経済への影響には引き続き留意が必要です。

農業を取り巻く環境では、輸入依存度の高い生産資材や燃料などの価格が高騰し、農業にとって非常に厳しい状況が続いています。一方、2023年度中の改正を目的に「食料・農業・農村基本法」の見直しがすすめられるとともに、「みどりの食料システム法」の施行により、環境と調和の取れた食料システム確立のため、ますます環境負荷へ配慮した農業生産が求められるようになりました。

こうした状況の中、JAはだのでは、農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化に資するべく、「不断の自己改革」に取り組むとともに、食と農を基軸に第六次中期経営計画（2022年度～2024年度）初年度の実践に取り組みました。

組織運営では、支所・支店を拠点とした地域の特色を生かした組合員参加型の活動に取り組むとともに、機関紙「JAはだの」の紙面を活用し農業や協同組合への理解促進をはかりました。

営農指導事業では、訪問活動を通じ、生産者のニーズを踏まえた営農指導と販売提案につとめました。また、「はだの都市農業支援センター」と連携し、有害鳥獣対策や新規就農者支援、観光農業振興に取り組み、地域における農業生産基盤の維持・継続をはかりました。

販売事業では、地産地消の拠点である「はだのじばさんず」敷地内に、新たにジェラートショップ「Sun's Gelato」をオープンし、利用者層の拡大をはかるとともに、地場農産物のPRや買取販売の拡大につとめました。また、中学校給食への地場農産物の安定供給へ向けた生産振興に取り組みました。経済事業では、予約購買の基幹品目である新茶と県産飲料の取扱拡大をはかる一方、高騰する資材価格に対する助成対策につとめるなど、組合員ニーズに応える事業展開をすすめました。さらに、金融共済事業では総合農協としての役割を発揮するため、日常的な相談・提案機能の充実につとめ、地域に根ざした金融機関として組合員・利用者の満足度を向上させる店舗づくりに取り組みました。

経営管理では、事業再構築計画に基づいた業務集約として第1次再編を実施し、金融事業の見直しをはかりました。また、総合経営収支の安定確保とコンプライアンス態勢の徹底、監査業務の品質管理活動により、経営の健全性と信頼性の維持につとめました。

JAはだのでは、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として、さらなる地域農業振興と豊かで暮らしやすい地域社会づくりに取り組んでまいります。

皆さまの一層の参加、参画および利用結集をお願い申し上げます。

秦野市農業協同組合

代表理事組合長 宮永 均